

放課後子ども教室だよ

玉井放課後子ども教室訪問

令和2年10月2日(金)訪問

○開設年度	平成21年	○参加者	対象学年：4～6年生 児童数：50名
○活動場所	大玉村農村環境改善センター	○登録スタッフ	安全管理員：2名 活動指導員：1名
○実施回数	36回		兼務(安全管理員・活動指導員)：22名
○実施時間	4時間	○活動内容	地域人材を活用した体験学習 スポーツ、工作、読書活動等

大玉村の「強み」とは

訪問当日は、「風船を使ったバドミントン」と「牛乳パックを使ったホイッスル作り」の2つのグループに分かれて活動を行っていました。

「バドミントン」のグループは、縦割り編成となっており、6年生がリーダーとなって下級生をまとめながら楽しそうに活動を行っていました。

「ホイッスル作り」のグループの所へ訪問した際には、子どもたちがすでにホイッスルを作り終え、次の製作活動に取り組んでいるところでした。お話を伺うと、予定よりも早く子どもたちが作品を作り上げてしまったため、当日担当のスタッフがその場にある材料から次にどんな活動ができるのかを判断し、子どもたちにストロー笛の作り方を指導しているということでした。

このように臨機応変に対応できるスタッフがいるということも、大玉村の強みの一つです。

大玉村の子ども教室スタッフやボランティアの方の意識は非常に高く、子どもたちへの関わりや活動を進めることに慣れており、指示をされなくても自分で主体的に動ける方が多いそうです。これは、村の中で地域連携の組織がしっかり作られていること、そして、コーディネーターと社会教育指導員がボランティア一人一人への連絡・打ち合わせ等のやりとりを長年丁寧に行ってきたことの現れでもあります。



ポイント

熱心な取組が「安心・安全」につながっています

大玉村では玉井・大山の2つの放課後子ども教室を運営しています。昨年度までは、2つの教室を毎週金曜日に開催していました。しかし、今年度は新型コロナウイルス感染症予防のために、大山放課後子ども教室を毎週月曜日開催とし、それぞれの教室において開催場所を2つに分けて、1部屋ごとの児童数を少なくして開催することにしました。

放課後子ども教室の運営は、コーディネーターと社会教育指導員が中心となって行っています。プログラムの活動内容も多岐にわたり、外部指導者やスタッフに地域の人材を積極的に活用しています。

また、毎回活動内容について記入した「進行表」を作成し、その日にお世話になるスタッフの自宅に届け、その日の活動の内容や役割分担を事前に把握できるようにしています。

今年度は、ボランティアの稼働率が2倍になり、とても忙しくなりましたが、スタッフがボランティアの方々に誠意をもって関わることで、協力的に取り組んでくださっているそうです。



コロナ禍における活動のヒント

大玉村では、新型コロナウイルス対策として、スタッフの方に前もって健康管理カードを渡しており、子ども教室の3日前から体温・体調について記入して提出していただいています。また、当日の子どもたち・スタッフの検温も欠かさず行っています。

学校との連携に関しては、村として地域学校協働本部事業を通じた地域と行政と学校の連携づくりができていますので、双方の話し合いの場や機会があり、情報共有もできているそうです。放課後子ども教室でも、コロナ対策に関する学校内のガイドラインに沿った運営を行っています。